

飼育日誌

(令和6年7月1日～12月31日)

7/1	ツキノワグマ	トレーニング実施。
7/4	ニホンイヌワシ	月子♀ 両脚趾瘤症悪化、附腫が太く熱感あり。ハジミ・ダニの寄生多い。
7/5	キリン	ケイト♂ 3回目の採血に成功。
7/8	フタコブラクダ チンパンジー	幸♀ 抗生剤内服、サポーター装着。 数年ぶりにK太郎のまんまタイムの練習を行う。
7/11	ラマ	モス♀ ヒロ♂との繁殖の為キリン舎へ移動(2回目)交尾1回あった可能性あり。排卵促進剤筋注。
7/12	アフリカゾウ	花子♀ 筋力トレーニング実施。
7/15	ノドジロオマキザル	日向♂とカオル♀で交尾確認。
7/17	アカカンガル	みかん♀ 育児嚢の膨らみ若干あり。
7/20	ニホンイヌワシ	千秋♂・紫翠♀健康チェック。
7/23	マーコール	子 少したが、角が出てきた。
7/26	コモンマーモセット	モモ♀ 後肢の筋肉が落ちてくる。
7/27	ミニブタ	とんぺい 去勢♀ AM自力起立できず。採食なし。体温36.8℃ PM自力起立し、採食。38.5℃
7/29	フクロテナガザル	ワタル♀ 軟便から下痢。避妊薬減量したが改善ないため内服中止。
7/30	ヤギ	ゆばの角鞘が取れた。
8/9	インドクジャク	4羽孵化したが、展示場外へ出てしまうおそれがあることから、母親と一緒にキジ舎に面した小屋に収容。
8/14	シマフクロウ	(採血)捕獲作業。
8/15	カリフォルニアアシカ スバルバルライチョウ	マヤ♂ 採血実施。 避暑のため隔離棟へ移動 爪切り実施Bw793g(前回比-100g)
8/16		熱中症警戒アラート発令のため「なかよしタイム」中止。
8/21	トナカイ	春来♀ 角の皮膚が剥け、キーパーへの攻撃性も増し本日から間接管理、第2展示場上段へ移動する。
8/22	ミーアキャット	全頭体重測定実施。
8/29	ヨーロッパフラミンゴ	ヒナの自力採食確認。
8/30	トナカイ	春来♀ ルーサン・MSいずれも採食不良だが湿らせてところルーサンの採食開始。
8/31	ライオン	ローア♀ 尿の色が濃い。獣医師診察。抗生剤の投与開始。
9/6	アカカンガル	エメラ♀ 左眼眼球突出かなり悪化。抗生剤注射開始。
9/9	ニホンイヌワシ	(第2ペア)健康チェック及び移動作業(隔離棟からイヌワシ保全棟へ)。
9/11	キリン	ケイト♂ 右側の切歯が1本抜ける。
9/14	シロマダラ	解凍マウスの肢1、尾1の強制給餌に成功。
9/23	トナカイ	雨囀♀ バレード練習実施、しの♀ 両角枯角となる。
	ホンドフクロウ	たけこ♀ 動物病院からフクロウ舎へ移動。
9/24	ワオキツネザル	今年生まれの子2頭:捕獲保定しマイクロチップ埋め込み。
9/25	ニホンイヌワシ	新規ペア形成 たつ子♀×千秋♂、紫翠♀×楓音♀
9/30	ユキヒョウ アムールトラ	リヒト♂のマタタビ抽出物に対する反応を観察。 シュウ♂ ワクチン接種訓練実施。
10/2	アメリカビバー	チャチャ♀ 左目の目やに多く点眼行う。

10/7		鳥インフルエンザ講習会。
10/8	インコ舎 カリフォルニアアシカ	サッシ設置。 雌雄同居。
10/10	カナダヤマアラシ	2頭 病室5から病院バードケージに移動。
10/13	マーコール	繁殖制限の為、雌雄を分離。
10/14	ユキヒョウ	ヒカリ♀ 麻酔注射模擬トレーニング実施。
10/15		サル山一斉捕獲(追い込み)、去勢(1頭)。
10/17	シュバシコウ	高病原性鳥インフルエンザ警戒期間スタート。 コウノトリ舎へ移動。右脚跛行あり。経過観察。Bw3.82kg(前回比+0.18kg)
10/23		猛禽舎(フクロウ・シマフクロウ2部屋・イヌワシ4箇所)鳥インフルエンザネット付け作業。
10/26	ホンドタヌキ	ゼン♂ 胸部に出血痕あり。傷は確認できず。
10/27	フンボルトペンギン チンパンジー	隔離棟へ14羽移動(鳥インフルエンザ対策) K太郎♂J太郎♂ 闘争により負傷、経過観察。
10/29	フラミンゴ	健康チェック(全羽捕獲)
10/30		キジ舎冬囲い。
10/31	チンパンジー	J太郎:10/27(日)の闘争から初めて外に出てコタロウと同居。
11/1	ニホンリス	マイクロチップ挿入。
11/2	カピバラ レッサーパーンダ グリーンイグアナ	湯こ初日。 ひなた♂に2度恋鳴きありと来園者から情報あり。 イグリン 尻尾15cm自切。
11/5	ノドジロオマキザル	カオル♀ 腹周りが大きくなった様子。 フクロウ舎サッシ取り付け。
11/12	ニホンイヌワシ	千秋♂×たつ子♀ 巣材投入。たつ子がすぐに巣に持ち込む。
11/19	フンボルトペンギン	屋内隔離を解除。隔離棟ペンギンをペンギン舎へ移動。
11/21	アメリカビバー	チャット♀ 上の前歯が折れてしまったようで、食べづらそうにしている。 ゼニタナゴFRP水槽冬囲い。
11/24	ニホアナグマ キリン	いけだ♂ 起立不能。展示中止し、小動物舎予備室で治療中。 体重測定。
12/1	アフリカゾウ	花子♀ 夕方、油圧扉やタイヤにアタックを繰り返していた。
12/6	マーコール カリフォルニアアシカ	ところてん♀とクリーム♀にマイクロチップ挿入。 アイラ♀ 腹部の触診も成功。
12/7	カナダヤマアラシ	♀2頭病院からヤマアラシ舎室内に移動。
12/9		鳥インフルエンザマニュアル説明会・演習会。
12/11	アメリカビバー	巢解体作業。
12/12	アメリカビバー	動物脱出防止対策演習。 チャット♀ 少し歯の長さが改善したようで、食べ方が少し良くなっていた。
12/13	アメリカビバー	雌雄分離。
12/20	アカカンガル	カスベ♀の仔ヒラメが午後から行方不明。夕方探したが、見つけれず。
12/21	アカカンガル	みかん♀ 育児嚢内にカスベ仔ヒラメがいるのを確認。
12/24	アムールトラ	~28日 シュウ♂・カサンドラ♀同居。複数回の交尾を確認。
12/26	ツキノワグマ ボアコンストリクター	冬ごもり開始。 シア♂ 6か月ぶりに採食あり。
12/29	ベニコンゴウインコ	朝、巣箱内で3個の卵確認。
12/30	コモンマーモセット	コモ♀ ♀部屋内でケージ越しお見合いスタート。

お客さまの声

- 9/21 羽村動物園のビーバーちゃんの実家が見たくてやってきました。巣も見れる展示で良かったです!ビーバーのまんまタイム&グッズをお願いします。
- 9/28 40年ぶりに来ました。とても魅力的な園で感激しました。また来たいです。
- 10/10 ひとりのんびり、可愛い動物たちと触れ合い、シアワセ気分を満喫できました。売店も、たくさん商品があり、楽しめました。ありがとございます♪
- 10/12 もう何度も訪れていますが、いつ来ても常に新鮮に楽しいです。季節によってもさまざまな動物たちの行動や表情が違っていつも楽しませてもらっています。また、絶対来ます。
- 10/21 ユキヒョウ・ヒカリのお話会、お別れ会を企画してくださり、ありがとうございます。アサヒはコロナで閉園中の移動だったのでも、めちゃくちゃ嬉しいです。思い出スライドショーも最高です。
- 11/16 小さい頃によく来ていて、中学、高校、大学となるにつれてくる機会が無くなっていましたが、今回久しぶりに来てすごく楽しく感じています。機会があったらまた来たいと思います。
- 11/25 飼育員さん達の動物愛がすごく伝わる。見て!すごいんだよ!この子!!みたいな。

かたばた通信

大森山動物園に異動して2年目です。施設担当として動物たちが生活する施設やお客様が使用される施設、園路の管理などを行ってきました。これまで体験したことがない業務が多く、一から学ぶ必要があり苦戦してはきましたが、自分のできる事が増えていくことで動物園の役に立っていると実感することも多々あり、やりがいを感じています。これからも新しいことに挑戦し、より快適な動物園環境を作れるよう尽力します。(吉川)



発行/秋田市大森山動物園

〒010-1654 秋田市浜田字湯端154番地 TEL 018-828-5508 FAX 018-828-5509
E-mail ro-inzo@city.akita.lg.jp デザイン・印刷/秋田活版印刷株式会社

●動物取扱業者 秋田市長 穂積 志 ●事業所及び所在地 秋田市大森山動物園 秋田市浜田字湯端154番地
●登録に係る動物取扱業の種別/販売:動-19-52 貸出し:動-19-53 展示:動-19-54
●登録の年月日/2007年6月1日 ●有効期間の末日/2027年7月31日 ●動物取扱責任者/高橋 広志、山上 昇

大森山動物園

検索

<https://www.city.akita.lg.jp/zoo/index.html>